

令和2年度

# 事業報告書

社会福祉法人 正和会

## 目 次

1. 法人及び施設の概要	1
2. 法人の沿革	2
3. 法人	5
4. 介護老人福祉施設まきの苑（特別養護老人ホーム）	9
5. 短期入所生活介護事業所まきの苑（ショートステイ）	16
6. ケアハウスまきの苑	17
7. 介護老人保健施設ルポゼまきの	19
8. 認知症対応型共同生活介護事業所グループホームシャルルまきの	26
9. 在宅部事業報告（8事業所）	31
10. 栄養課	44
11. 総務部	47
12. 各種委員会の活動内容と活動実績報告	48
13. ボランティアの登録状況について	53
14. 人事労務管理	54

## 1. 法人及び施設の概要

### 法人本部

法人設立許可 平成5年3月31日 奈良県指名高福第400号  
奈良県五條市大沢町5番地の25  
法人設立 平成5年4月7日

### まきの苑

奈良県五條市大沢町5番地の25  
敷地 6,335.20 m<sup>2</sup>  
建物 6,912.39 m<sup>2</sup>  
主建物（鉄筋コンクリート造り瓦葺3階建） 6,823.04 m<sup>2</sup>  
機械室（鉄筋コンクリート一部鉄骨瓦葺平屋建） 70.00 m<sup>2</sup>  
物置（木造瓦葺き平屋建） 19.35 m<sup>2</sup>

### ルポゼまきの

奈良県五條市大沢町9番地の8  
敷地 4,832.03 m<sup>2</sup>  
建物 5,116.95 m<sup>2</sup>  
主建物（鉄筋コンクリート造陸屋根5階建） 5,004.81 m<sup>2</sup>  
機械室（鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建） 112.14 m<sup>2</sup>

### まきの苑ラコントレ

奈良県五條市大沢町5番地の25  
建物 4,791.74 m<sup>2</sup>  
主建物（鉄筋コンクリート造陸屋根6階建） 4,770.94 m<sup>2</sup>  
物置・機械室（鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建） 20.80 m<sup>2</sup>

### 音和舎利休

奈良県五條市田園4丁目50番4  
敷地 495.53 m<sup>2</sup>  
建物 187.75 m<sup>2</sup>  
主建物（木造平屋建） 187.75 m<sup>2</sup>

### 音和舎扇寿

奈良県五條市今井5丁目68番地1  
敷地 2336.68 m<sup>2</sup>  
建物 607.09 m<sup>2</sup>  
主建物（鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建） 607.09 m<sup>2</sup>

## 2. 法人の沿革

平成5年3月31日	社会福祉法人正和会 設立
平成6年2月1日	在宅介護支援センターまきの苑事業開始 (五條市より受託)
平成6年3月1日	ホームヘルプサービス事業開始 (五條市より受託)
平成6年3月14日	特別養護老人ホームまきの苑事業開始 50床 ケアハウスまきの苑事業開始 30床
平成6年4月1日	デイサービス事業B型事業開始 15名 (五條市・旧西吉野村)
平成7年3月1日	特別養護老人ホームまきの苑 50床増床 定員 100床 ケアハウスまきの苑夫婦部屋 8床増床 定員 46床
平成8年4月1日	緊急通報装置センター事業開始 (五條市・旧西吉野村より受託)
平成9年6月1日	身体障害者デイサービス・ショートステイ事業開始 (五條市より受託)
平成9年9月1日	訪問入浴サービス事業開始 (五條市より受託)
平成10年12月1日	老人保健施設ルポゼまきのの事業開始 80床 (内ショート10床)・デイケア 20名 特別養護老人ホームまきの苑 30床増床 定員 130床
平成11年8月4日	介護サービス提供事業所事業許可
平成11年10月1日	居宅介護支援事業所ルポゼまきのの事業開始
平成12年4月1日	介護サービス提供事業所事業開始 ・介護老人福祉施設まきの苑 ・短期入所生活介護事業所まきの苑 ・通所介護事業所まきの苑 ・訪問入浴介護事業所まきの苑 ・介護老人保健施設ルポゼまきのの ・短期入所療養介護事業所ルポゼまきのの ・通所リハビリテーション事業所ルポゼまきのの ・訪問介護事業所ルポゼまきのの
平成13年9月1日	ショートステイ 4床を特別養護老人ホーム床へ転換 (定員 入所 134床 ショートステイ 20床)
平成14年6月1日	ショートステイ 3床を特別養護老人ホーム床へ転換 (定員 入所 137床 ショートステイ 17床)
平成18年4月1日	介護予防サービス事業開始 ・介護予防短期入所生活介護 ・介護予防通所介護 ・介護予防訪問入浴介護

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防短期入所療養介護</li> <li>・介護予防通所リハビリテーション</li> <li>・介護予防訪問介護</li> </ul>
平成 19 年 2 月 1 日	訪問入浴介護事業及び介護予防訪問入浴介護事業の休止
平成 19 年 3 月 1 日	特別養護老人ホームまきの苑ラコントレ 50 床増床 (入所 187 床 ショートステイ 17 床) 認知症対応型共同生活介護事業所 グループホーム シャルルまきの事業開始 (定員 1 ユニット 9 床)
平成 19 年 4 月 1 日	居宅介護支援事業所まきの苑事業開始
平成 19 年 8 月 1 日	認知症対応型共同生活介護事業所 グループホーム シャルルまきの 1 ユニット 9 床開始 (定員 2 ユニット 18 床)
平成 23 年 4 月 1 日	認知症対応型共同生活介護事業所 グループホーム シャルルまきの 「短期利用型」事業開始
平成 23 年 10 月 1 日	通所リハビリテーション事業所ルポゼまきの 定員 20 名から 26 名に変更
平成 24 年 4 月 1 日	通所リハビリテーション事業所ルポゼまきの 定員 26 名から 35 名に変更
平成 26 年 12 月 1 日	通所介護事業所音和舎 善 事業開始
平成 29 年 4 月 1 日	『居宅介護支援事業所まきの苑』『居宅介護支援事業所ルポゼまきの』統合、移転。事業所名『音和舎彩羽』に変更 『訪問介護事業所ルポゼまきの』移転。事業所名『音和舎布乃香』に変更
平成 29 年 10 月 5 日	音和舎 一休 事業開始
平成 30 年 5 月 1 日	通所リハビリテーション事業所ルポゼまきの 定員 35 名から 50 名に変更
平成 30 年 11 月 1 日	通所介護事業所音和舎 利休 事業開始
平成 31 年 4 月 1 日	『通所介護事業所まきの苑』縮小。事業所名『地域密着型通所介護事業所まきの苑、五條市介護予防・日常生活支援総合事業まきの苑』に変更
令和 3 年 3 月 3 日	小規模多機能型居宅介護事業所音和舎 扇寿 事業開始

## <法人理念>

われわれ正和会は地域における最高の福祉の充実を目指し日々精進することを旨とする。

## <法人方針>

われわれ正和会は単なるサービス業として受け止めるのではなく、福祉という崇高なる理念に基づき情報も含むあらゆるサービスの提供改善に努めます。

## 【5年後のビジョン】

地域とつながる正和会 ～ 交わる世代・支える暮らし・楽しむ未来 ～

- ・どの世代からも「つながる」法人、地域の中で世代を超えて人と人とが「つながる」ことを支援する法人を目指します。
- ・地域での暮らしの中に「安心できる」選択肢を増やし、地域の課題解決や生活の質の向上に役立つ、身近に存在する法人を目指します。
- ・ご利用者、地域住民、職員等関わる人の楽しい未来に向けて努力する法人を目指します。

## <中長期事業計画>

1. 利用者・家族満足度の向上
  - (1) 満足度の向上
2. 地域信頼度の向上
  - (1) 地域貢献事業の拡大
  - (2) 法人機能の拡大
3. 経営基盤の安定
  - (1) 収入の確保
  - (2) 費用削減
4. 業務改善
  - (1) 業務の効率化
  - (2) 品質の維持・向上
5. 人材確保
  - (1) 新規採用の開拓
6. 人材定着
  - (1) 働きやすい職場作り
  - (2) 働きがいのある職場作り
7. 人材育成
  - (1) ヒューマンスキルの向上
  - (2) 専門スキルの向上
  - (3) コンセプトチュアルスキルの向上

### 3. 法人

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、法人及び全事業所の事業計画（BSC）を中止した。日々、追加される情報や報道内容に振り回されたところもあるが、随時の情報収集と共有、その都度、対応を強化し乗り切った1年であった。

ご利用者の皆様、そしてご家族様はじめ関係者の皆様には、何かと制限を設け我慢していただく日々であったが、ご理解とご協力いただいたことに深く感謝申し上げます。

ご利用者の安全を守り、それを支える職員の健康を維持することに1日として気の抜ける日はなかったが、自らの職責、立場を自覚し、プライベートにおいても徹底した感染対策により事業所に持ち込まず、また、拒否せずサービス提供に勤しんでくれた職員、そして関係者の皆様にも深く感謝申し上げますところである。

コロナ禍で対策をしながらの事業継続であったため、例年とは報告内容が異なるが、1年の業実施状況についてご報告申し上げます。

#### 1. 利用者・家族満足度の向上

満足度調査のために実施していたアンケートは、「ご利用者ご本人の声が反映されているのか」という疑問、また「聞かれても見ていないのでわからない」というご家族様の回答を踏まえ、満足度の指標から見直し、調査方法も事業所ごとに設定する予定であった。今後は、事業所ごとに調査方法、指標を持って確実にサービスの質の向上に資するものにしていく。

リスク管理体制の整備は、新型コロナウイルス感染症対策を通じて、日頃の課題が浮き彫りになった状態である。それをもとに新年度の体制構築に取り組む。

#### 2. 地域信頼度の向上

既存の地域貢献事業は、休止としたが、再開を望むお声をいただいたことから、必要な場所であるという認識を持つことができた。感染状況を考慮しながら、再開していきたい。なお、シニア世代応援事業「未来塾」の設立趣旨の確認と講座内容を検討しながら運営方法を模索してきた。他の地域貢献事業を通じて、未来塾開始当初とは異なる形で地域との繋がりができ始めていることなどを踏まえて今年度でいったん廃止とした。シニア世代との繋がり方、支援の在り方を考え直し、目的を明確にして再度運営に取り組みたい。

地域の活動も中止になることが多く、また、開催されても職員を参加させられない状況であったが、その中でも学校への出前講座は実施した。参加人数の制限や感染防止対策の徹底などできる方法を模索した結果であると捉えている。

このような状況だからこそ、高齢者の移動手段の確保は必須であると考えたが、実際の利用は想定から大きく離れている。「こういうのがあれば…」という利用者側の思いと実際の利用に至らない実態の乖離の原因を探る必要がある。一方、生活課題解決事業は利用数が伸びている。この点は、これからの事業展開にも大きく関わるものと考えている。

広報活動全般の見直しに着手することはできなかったが、感染症対応状況などの伝達にホームページを活用した。その際、「どこにあるかわからない」「ホームページを見る環境にない」と言ったお声を頂戴したことは、広報活動の見直しの際に考慮すべき点である。

小規模多機能型居宅介護サービス事業所は無事、竣工することができた。今後は、地域の福祉サービス利用の選択肢の一つとしての存在感を増していきたい。

### 3. 経営基盤の安定

事業の一時休止、受入制限などを余儀なくされたため、目標稼働率は達成できなかった。感染症対策に係る物品購入については補助金が支給されたため収支に影響はほぼなかった。

事業再編として、利用者層を考慮した上で、人員配置の効率化を図るべく認知症デイサービスの廃止と特別養護老人ホーム認知症専用棟の一時受け入れ停止に踏み切った。小規模多機能型居宅介護サービス事業所の竣工後に、全体でより効率の良いサービス提供体制を構築し、経営基盤を強化する。

内部の体制作りについては保留となったが、感染症対策のやり取りの中で課題と共に改善方法が見えたこともある。これらを元に新年度は体制作り着手する。

### 4. 業務改善

介護現場の革新は制度上も求められており、それに対応すべくIT及び関連機器の導入を進めてきた。今回のコロナ禍は、苦手であるとかわからないなどと言っている場合ではなく使いこなしていかなければならないという意識を持つ大きなきっかけになったことは間違いない。

会議、研修についても、集まる労力を最小限にしようということでオンライン化を検討していたが、人と人との接触機会の削減と学習や伝達、話し合う機会の確保の両面から対応機器を増やし、デスク、又は棟内の会議室にしながら職員が参加できる状況を作った。

IT関連機器の定着と活用は新年度の取り組みとして法人横断型の委員会を設置して推進したい。

断捨離プロジェクトは、感染症対策のために出勤者を減らす際に効果を発揮した。これをきっかけに、業務の振り分け方、時間の見直しなど改善のポイントとなる要素を認識、組み替え方の理解も進んだと考える。サービスの在り方の変革を求められ、実行していかなければならない中では良い機会となった。PDCAサイクルの定着についても、同じ過程で、伝え方、徹底する方法の工夫と指示通りに実行されているかの確認が必須であったため、日頃のPDCAサイクルの維持についての強み、弱みが明確となり、特に役職者はそれぞれに改善のきっかけをつかむことができた。

対外的な行事を全て中止し、施設内への立ち入りも制限したため、老朽化対策などの具体的工事は実施できなかったが、感染症対策も念頭においた設備の更新を考える時間となった。



## 5. 人材確保

人の動きが止まった一年、採用活動も停滞した。オンラインを活用した説明会などに参加、またこれまで訪問していた学校に書面を送付するなどに対応した結果、新卒採用は5名であった。

やはり、世代により就職先に求めることが異なる点、また就職先を探す際に利用するツールも異なるため、情報提供手段は複数用意し運用する必要がある。

離職率が上がった理由の一つに「採用時のミスマッチ」もあるため、採用時の双方の思い、期待の確認など、募集から採用判断までの過程を一つずつ見直し、定着に向け確実に段階を踏める体制を構築したい。

## 6. 人材定着

感染症対策を通じて、内部の状態を把握し改善する糸口を見つける結果となった。

有給取得については、感染症対策の一環での取得があったため、取得率は向上している。

新型コロナウイルスによる行動制限はメンタルヘルスに影響するものであった。職員だけではなく、職員に日頃、関係する人の生活にも制限を及ぼすこととなったが、協力して感染防止に努めてくれたことには感謝の念しかない。このことから、前年度のストレスチェックの結果を受けて計画する予定であったメンタルヘルスに関する取り組みの内容を、コロナ禍におけるストレス対策に変更し、オンラインサロンの開催、お楽しみ企画の実施に取り組んだ。少しでもメンタルヘルス維持に役立ったことを願う。

内部に集中する機会となったことを受け、コミュニケーションの一つとして面談を重視した。人事考課の際の面談だけではなく、日頃から長所と課題を自覚し、スキルの向上を図る狙いである。色々な動きの中で、目的、意味が伝わっていない実態が把握できたことから力を入れたところである。

外国人材の新規採用は見込みが立っていない。しかし、先に入社が決まっていた人材は年度内に入社し、現在配属先にてそれぞれに頑張ってくれている。初めての受け入れから現在は2号生もいる状態で、受入の流れ、事業所での指導、定着、生活面の指導体制も整いつつある。国籍による不公平感を生まぬよう注意をしながら、国籍を問わず活躍してくれることに期待している。

## 7. 人材育成

今年度は、毎月、新人研修を実施し、理念と方針、法人のルール、基礎知識、技術の伝達、浸透を図った。新人に限らず、勤続年数5年以上の職員を対象者とし、法人全体の価値基準(ものさし)の一致を図り、先輩職員によるOJTの推進の基盤作りをした。また、接遇の強化に取り組み、まずは職員同士がお互いに組織の一員として認め合う風土作りに取り組んだ。いずれも、浸透具合を観察しながら新年度も継続して取り組む。

外部研修への参加も対外活動同様見合わせたため、参加数は限られたものになったが、「可能であればなんとかして参加したい」という姿勢はもっている職員がいることが心強かった。

個別の研修は実施できなかったが、チーフ以上にコーチング研修を実施した。専門家

と1対1の研修は、メンタルヘルス対策の意味も含めコミュニケーションスキルの開発に役立つものと考えている。また、『次世代経営者及び経営幹部育成塾』という通年で実施された研修に4名の役職者を派遣した。法人を代表して、他の法人との接触を持てた機会での学習、繋がり、受講者本人のみならず、役職者に伝達共有されることで、今後の法人経営、事業所運営に大きな武器になると考えている。

ピンチをチャンスにという精神で、「何かできることを」「どうすればできるか」を考え動き続けてくれた1年であった。一つ一つの積み重ねがご利用者の安心、地域からの信頼性を増すことになったと思っている。

また、この時期だからこそ知ること、見つけることができた改善点、課題がたくさんあった。大変ではあったが、貴重な機会ととらえて新年度の取り組みに繋げたい。

- ・全体稼働率 : 79.1 % (前年度 -3.4 %減)
- ・離職率 : 14.6 % (前年度 2.5 %増)
- ・時間外労働時間 : 10,494.5 時間 (前年度 -2,680.25 時間 比率 21% 減)
- ・有給取得率 : 68.3 % (前年度 -4.1 %減)

※ 詳細は P.63『(3) 事業所別一覧』参照

- ・認知症サポーター研修 2か所実施
- ・非常食を活用した出前講座 2か所実施
- ・生活課題解決事業（訪問サービス自費負担分） 263.5時間/年

#### 【地域貢献事業】

- ・ふくろう相談をLINEに変更し介護相談の実施
- ・フィットネス「楽」を開催するにあたり人数制限と時間割制を導入し開催
- ・ゆるりメニューをテイクアウトに変更

#### 【全事業所共通】

※個別の事業報告からは割愛

1. ご利用者・ご家族の満足度、地域信頼度の向上
  - ・入所施設へのオンライン面会システム導入・運用
  - ・対外活動（地域交流）及びボランティア受け入れ中止
2. 業務改善
  - ・会議、研修オンライン実施体制及び機器の整備（PC、タブレット端末、付属機器の配備）と活用
  - ・感染症対策（予防策）の徹底
    - ・リスクマネジメント委員会を中心とした会議、対策マニュアル作成、情報更新と共有、随時の指示
    - ・手洗い、マスク、消毒、アクリル板の設置、換気
    - ・就業時のガウン、手袋、フェイスシールド着用、出勤時の検温、体調確認等
  - ・「3密回避」の勤務体制の構築と試験運用

- ・コロナ対策助成金活用による空気清浄機・非接触型体温計など導入

### 3. 人材採用・育成・定着

- ・正職員5年目以上の職員は、新人研修を受講。理念・方針の内容や事業の方向性は共有、組織のルールの確認、介護に関する基礎知識、技術の確認を行う。
- ・メンタルヘルス対策として、臨床心理士によるオンラインサロン及びストレスコーピングについてのWEB学習を実施。
- ・外国人材の採用
  - ・高度人材 総務部 1名
  - ・技能実習生 2号生3名(ベトナム 特養3名)  
1号生6名(フィリピン 老健2名、インドネシア 特養2名、  
老健1名、グループホーム1名)
- ・接遇強化(『ぷらんすいぷす(正和会基本行動集)』の活用)

## 4. 介護老人福祉施設まきの苑(特別養護老人ホーム)

昨年度に引き続き、事業の再編成を進め、年度末には認知症専用棟入所30床、同ショートステイ4床、計34床の減床を終えた。コロナ禍で行動制限が課された1年は長く、ご入居者、ご家族の皆様にも大変ご不便をお掛けする日々が続いた。職員にとっても初めての新型コロナウイルス感染症対応は、緊張の連続で、対策会議を重ね、なんとか2度目の春を迎えることができた。

私たちは、ご入居者が当たり前のように生活できて、安心・安全に暮らすために「起きる」「食べる」「排せつする」「清潔にする」支援を丁寧に心地よくという意識を持ち続けた。全職員が介護の原点に戻された1年であった。

今後も感染症との共存が続くが、感染予防の行動を習慣化し、入居者お一人ひとりが日々の生活を心安らかに過ごしていただけるよう「ゆとり」の行動に努めたい。

### 1. 利用者・家族満足度の向上

- ・リスクマネジメント：感染症対応に追われた1年だったが、ヒヤリハットの分析を行い、大きな事故に繋がらないよう予防策に努めた。

### 2. 地域からの信頼度の向上

- ・信頼度向上：11月に職員2名が新型コロナウイルスに罹患。施設、法人内の迅速な連携でご入居者の感染者は0名であった。感染症対応に助言をいただいた専門家の皆様から初動対応に良い評価をいただくことができた。

### 3. 経営基盤の安定

- ・収入確保：稼働率の維持 入所 84.6%、ショート 105%  
：各種加算の取得（個別加算状況表参照）
- ・費用削減：残業時間削減：-1,581.75 時間（前年度比 -26%）

### 4. 業務改善

- ・見守りセンサーシステム「眠りスキャン」を導入後、ご入居者の健康状態が把握でき、事故予防や夜間の適切な巡視に役立っている。

### 5. 職員個々のレベルアップ

- ・外国人技能実習生は2名増え、合計5名の職員が笑顔で勤務している。

### 6. 人材育成・定着

- ・働きやすい職場環境作り構築のために、12種類の勤務形態を活用。
- ・感染症対策を進める中、良いチームワークが形成され、全体朝礼では職員の見習うべき行動を承認する活動を継続している。
- ・有給休暇については、感染症対応も踏まえ体調に変化があれば早めに休日をとれる体制を整えた。

### 年間稼働状況

定員	入所延人数	1日平均入所人数	稼働率	平均介護度
187名	56,950人	156.0人	84.6%	3.8

	稼働率		平均介護度		入院状況	
	従来型	ユニット型	従来型	ユニット型	人数	日数
4月	88.7	72.5	4.0	3.6	21	370
5月	92.2	71.9	4.0	3.6	18	201
6月	95.7	71.6	3.9	3.6	9	116
7月	95.1	72.0	3.9	3.5	10	132
8月	95.0	71.4	3.9	3.5	7	120
9月	91.4	72.4	3.9	3.5	15	187
10月	90.0	71.4	3.9	3.5	18	233
11月	90.7	68.4	3.9	3.5	17	235
12月	89.8	70.9	3.9	3.5	14	142
1月	89.2	72.5	3.9	3.5	10	130
2月	86.3	69.9	4.0	3.4	17	158
3月	95.4	95.3	4.0	3.3	16	180

待機者の状況

R3. 3. 31

区 分	県内	県外	合計
待機者数	105	10	115

入所前の住所地

R3. 3. 31

市 町 村 名	男	女	計
五 條 市	7	23	30
五條市以外	2	2	4
県 外	2	0	2
合 計	11	25	36

入所者要介護認定別一覧表

R3. 3. 31

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	1	0	2	8	5	16
女	2	2	25	28	31	88
計	3	2	27	36	36	104

要介護度別延人数（年間）

介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	計
延人数	1,369	1,892	18,727	20,756	14,206	0	56,950

年齢性別状況表

R3. 3. 31

	65 未満	65～69	70～79	80～89	90～	計	平均年齢
男	0	1	5	8	11	25	86.3
女	0	1	8	53	69	131	89.8
計	0	2	13	61	80	156	89.3

個別加算の状況

実施延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看取り介護加算(1)	0	0	13	27	0	9	27	6	27	28	0	12	149
看取り介護加算(2)	0	0	2	2	1	2	2	2	2	4	0	4	21
看取り介護加算(3)	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	0	2	11
経口維持加算(Ⅱ)	67	68	70	72	69	80	76	76	76	72	72	71	869
外泊加算	102	38	34	51	30	76	50	71	31	41	78	56	658
初期加算	132	108	110	72	74	98	96	103	88	132	11	111	1,135
療養食加算	450	519	679	640	562	600	558	602	666	837	653	865	7,631
口腔機能維持加算	154	157	162	162	156	154	156	151	154	158	153	153	1,870
褥瘡マネジメント加算	53	54	49	64	47	49	59	47	46	58	50	45	621
排泄支援加算	37	47	56	68	79	61	45	38	32	21	14	12	510

日常生活の状況

R3. 3. 31

		男	女	計
食事	自立	10	66	76
	一部介助	10	25	35
	全部介助	5	40	45
排泄	自立	3	11	14
	一部介助	9	65	74
	全部介助	13	55	68
着脱衣	自立	3	10	13
	一部介助	11	71	82
	全部介助	11	50	61
入浴	自立	0	0	0
	一部介助	13	79	92
	全部介助	12	52	64
座位	自立	4	28	32
	一部介助	14	56	70
	全部介助	7	47	54

		男	女	計
立ち上がり	自立	6	33	39
	一部介助	10	47	57
	全部介助	9	51	60
歩行	自立	4	18	22
	一部介助	5	19	24
車椅子使用	自操	5	25	30
	他操	14	68	82
体位変換	一部介助	6	53	59
	全部介助	7	16	23
認知症人数		16	84	100

※認知症人数（認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ～Ⅳの方）

## 日 課 表

入 居 者	時刻	職 員
起床・洗面・着替え 排泄（介助） 朝食	7:00	起床（点灯）・離床（着替え） モーニングケア ポータブルトイレ回収 換気 排泄介助
	8:00	朝食介助・服薬介助・口腔ケア介助
口腔ケア ラジオ体操 排泄（介助） 水分補給（介助）	9:00	日誌整理・排便チェック 入浴介助・水分補給 （バイタルチェック）
	10:00	シーツ交換・朝礼・ラジオ体操 排泄介助
一般浴入浴・足浴・整容 （爪切り・耳掃除） ティータイム・歌体操・排泄 （介助）（随時）	11:00	水分補給
	12:00	レク等・離床介助
昼食・口腔ケア 機械浴入浴・排泄（介助）	13:00	昼食介助・服薬介助・口腔ケア介助
	14:00	入浴介助・排泄介助
ティータイム（おやつ） クラブ・体操・運動 レクリエーション等	15:00	水分補給・クラブ・レク等・ バイタルチェック
	16:00	ポータブルトイレセット 排泄介助
水分補給（介助）	17:00	離床介助・水分補給

入居者	時刻	職員
夕食・口腔ケア・ 排泄(介助)・着替え  水分補給(介助)  消灯 排泄(介助)  排泄(介助) (随時)  排泄(介助)	18:00	排泄確認・記録・看護師・日勤者 より申し送り 終礼
	19:00	夕食介助・服薬介助 口腔ケア介助・排泄介助
	20:00	くつろぎタイム 就寝介助(着替え)
	21:00	服薬介助・水分補給・排泄介助
	22:00	排泄介助(随時)
	23:00	巡回
	0:00	巡回
	1:00	排泄介助(随時)
	2:00	巡回
	3:00	巡回
	4:00	巡回
	5:00	配茶準備 (排泄介助)

### 週 課 表

		月	火	水	木	金	土	日	備考
囑託医回診					○		○		週2回
精神科医診察					○				月2回
歯科医診察			○						週1回
口腔ケア (歯科衛生士)		○	○	○	○	○	○		週6回
売店									月2回 (FAX 依頼)
シーツ交換		○	○	○	○	○	○	○	週1回
入浴	一般浴	午前	午前	午前	午前	午前	午前	(午前) ショートのみ	週2回
	機械浴	午後	午後	午後	午後	午後	午後		週2回



## 月 間 表

区 分	内 容	各月実施日	備 考
レクリエーション (フロアごとに実施)	音楽レクリエーション	月 2 回	
	外食	随 時	
	ショッピング		
	ドライブ		
	クッキング		
整髪	理髪	月 2 回	
健康管理	体重測定	月 1 回	
	血圧測定	月 1 回	

## 年間行事実施状況

月	行 事	実施日	実 施 概 要
4月	お花見	1日 4日	季節を感じる
6月	フロアクッキング	11日	梅ジュース作りを楽しむ
8月	盆法要	12日	物故者法要、入苑者先祖の供養をする
9月	フロアで敬老会	21日	お茶をたて、和菓子と一緒に楽しむ
	彼岸法要	22日	物故者法要、入苑者先祖の供養をする
	コーラスクラブ	24日	歌をうたい楽しむ
10月	フロア小物作り	11日	裁縫をして、小物を作る楽しさを感じる
	紅葉ドライブ	20日	ドライブにて紅葉景色を楽しむ
	買い物	28日	好きなものを買って楽しむ
12月	フロアクッキング	24日	各フロアでケーキ作りを行い、クリスマスの雰囲気を楽しむ
1月	お茶会（フロア）	1日	お茶会で新年を祝う
3月	彼岸法要	20日	物故者法要、入苑者先祖の供養をする
	お花見昼食会	19～29日	桜の下で、昼食を食べ季節を味わう
	ドライブ	26日	感染対応でのストレス解消の為、気分転換をする

## 5. 短期入所生活介護事業所まきの苑（ショートステイ）

地域で暮らすご利用者の方々は、特養入居者の方以上に不安な1年を過ごされたのではないだろうか。ショートステイを利用中も他のご利用者や職員と充分交流することもままならず、利用を楽しみにしていただけただろうかという反省がある。

その中でも、ご利用者やご家族様から職員にあたたかい励ましのお言葉を頂戴し、職員一同、頑張る力をいただいた。今後も新しい生活様式に添って、少しでも楽しみの時間や交流の機会を増やせるよう努めたい。

ご利用の理由（一例）

- ・介護者の介護負担軽減      ・介護者の疾病による介護      ・台風による緊急避難
- ・社会性の維持（孤独の解消）      ・入浴利用      ・農繁期における介護力

### （1） 短期入所生活介護事業

年間稼働状況（介護予防含む）

定員	利用延人数	月平均 利用人数	平均稼働率	平均介護度
17名	6,361人	530人	105%	2.6名

	稼働率	平均介護度
4月	99.4	2.6
5月	111.6	2.7
6月	103.3	2.6
7月	97.5	2.6
8月	104.7	2.6
9月	108.8	2.3
10月	101.5	2.6
11月	116.9	2.7
12月	110.6	2.6
1月	97.7	2.7
2月	108.6	2.6
3月	112.2	2.5

介護度別利用者延人数

(人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
1,155	2,194	992	1,321	562	0	6,224

年齢性別状況表

R3.3

	65未満	65～69	70～79	80～89	90～	計	平均年齢
男	0	0	0	4	1	5	86.3
女	0	1	1	13	18	33	89.8
計	0	1	1	17	19	38	89.4

(2) 介護予防短期入所生活介護事業（対象者：要支援1. 2）

介護度別年間利用延人数

(人)

要支援1	要支援2	その他	合計
0	217	0	217

年齢性別状況表

R3.3

	65未満	65～69	70～79	80～89	90～	合計	平均年齢
男	0	0	0	1	0	1	84.5
女	0	0	0	2	1	3	86.9
計	0	0	0	3	1	4	86.3

## 6. ケアハウスまきの苑

新型コロナウイルス感染予防の中、どのように工夫すれば入居者様のストレスを減らし、健康を維持できるかを考え、「やっぱり、ここで暮らせば安心だ」と思って頂ける「入居者様第一」の施設を目指し、支援とサービスの実施に努めた。

外出制限など感染対策から、多くの行動制限を設けることとなったが、ご利用者の皆様のご理解とご協力のお陰で感染者を出すことなく1年を乗り切ることができた。

お部屋での趣味活動やラジオ体操、屋上散歩等での健康維持、在宅サービス事業所や居宅介護支援事業所等と連携し、入居者様の健康状態に応じた介護保険の活用等で、日常生活が充実して送れるような支援を行った。

1. 利用者・家族からの満足度の向上
  - ・ご家族様との連携強化
  - ・傾聴機会の確保と内容に応じた迅速な対応
  - ・入居者様の現状に適応した介護保険サービスの利活用の推進
  - ・健康維持の機会の提供（体操、散歩等）
  - ・診療所へのバス運行支援
2. 経営基盤の安定
  - ・収入確保：稼働率の維持 入居率 96.7%（前年度 95.4%）
  - ・人件費比率維持・削減：人件費率 27.1%（前年度 27.2%）
3. 業務改善
  - ・「緊急対応の手順」マニュアルによる訓練の実施
  - ・毎日の業務点検と週1回の業務会議（実施率 100%）
4. 人材育成・定着
  - ・面接ヒアリング：12回実施（前年度12回）

#### 年間利用状況

定員	稼働率
40室（46人）	96.7%

#### 年齢性別状況表

R3.3.31

	65未満	65～69	70～79	80～89	90～	計
男	0	0	1	1	2	4
女	0	1	0	17	18	36
計	0	1	1	18	20	40

#### 在所期間の状況

R3.3.31

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	計	最短	最長
男	1	1	0	1	1	4	9ヶ月	11年4ヶ月
女	4	17	5	6	4	36	20日	20年4ヶ月
計	5	18	5	7	5	40		

#### 要支援・要介護認定の状況

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	計
5	6	11	10	6	1	1	40

#### 入居前の住所状況

五條市：23名、五條市以外：8名、県外：9名

## 入居者状況表

	令和元年年度末	令和2年度の変動内容		令和2年年度末
		退居者	入居者	
男	6	3	1	4
女	33	4	7	36
計	39	7	8	40

退居先（老健3人、特養2人、その他2人）

## 年間行事

月	行 事
4月	「コロナに負けないぞ」と祈りを込めた「折り鶴」作成
5月	職員による手作りマスクをプレゼント
8月	お盆法要
9月	彼岸法要
10月	胸部レントゲン検診
12月	クリスマス会（サンタクロースが各部屋をプレゼント訪問）
2月	防災訓練（夜勤帯対象）
3月	防災訓練（昼間帯対象）

## 月間表

区 分	内 容	実 施 日
クラブ活動	手芸	年1回（各部屋で）
	さえずり会	11月まで
レクリエーション	歌・体操	体操のみ部屋&廊下で実施
整容	散髪	月2回
その他	循環バス	毎週火曜日・金曜日

## 7. 介護老人保健施設ルポゼまきの

地域ケアシステムの中核施設としての役割を担うために、地域から信頼され、いつでも介護支援が受けられる老健を目指し、医療・リハビリ機能の強化並びに関係機関との連携強化を図った。

昨年初めから新型コロナウイルスの感染拡大により、各種行事やボランティア活動の中止を余儀なくされたが、ご利用者・職員の感染予防に重点的に取り組み、新しい生活様式を取り入れたサービス提供体制を確立することに尽力した。

#### 1. 利用者・家族満足度向上

- ・多様なコミュニケーション手段の提案

オンライン面会により、家族も施設に来所することなく面会ができ、利便性が向上した。更に、利用者の様子を動画や画像で家族に配信することで、施設での生活の様子を把握してもらえ安心を提供できた。

- ・施設内での工夫を凝らし季節の行事（秋祭り、敬老祝賀会・初詣等）を実施し利用者を楽しんでいただけた。

#### 2. 地域からの信頼度向上

- ・新型コロナウイルス感染対策の徹底（フロアのゾーン分け、個人防護具の正しい装着、ご利用者・職員の交差を減らす業務改善）によりご利用者・職員の感染はなく予防できている。

#### 3. 経営基盤の安定

- ・収入確保：稼働率の維持 89.6%
- ・費用削減：残業時間削減 -406.0時間（前年度比 -18%）
- ・新規入所時の感染対策を優先するため、入所後一定期間の隔離対応専用居室を設けたことにより目標稼働に至らなかった。
- ・体調管理シートの作成と運用を開始し入院者の減少に努めた。

#### 4. 業務改善

- ・フロアをユニット分け（小人数グループ）し、それぞれユニットのご利用者の生活に合わせた業務・タイムスケジュールの見直し・整理を実施した。
- ・ICTの活用：眠りスキャン導入により、睡眠時の呼吸、心拍の測定により異常の早期発見、早期対応ができるようになり、サービス品質向上につなげることができた。また、夜間の巡回回数を削減でき、業務効率を向上させることができた。
- ・モバイル機器（iPad・iPod）を追加しタイムリーな記録業務と記録業務の分担により記録業務の時間削減ができた。
- ・事業所内会議を厳選し、必要な場合はオンライン形式で開催した。

#### 5. 人材育成・定着

- ・自立支援介護WEB研修受講（3年目）による介護力、知識の向上が図れた。また、実践による、職員のやりがい・モチベーションの向上につなげることができた。
- ・介護機器、ロボット（マッスルスーツ・ロボヘルパーSASUKE）を活用した職員の腰痛予防に取り組んだ。
- ・外国人技能実習生3名を受け入れ、指導、教育を行うことで職員個々が基本技術、知識を再確認し、共に成長することができている。

年間入所状況

定員	入所延人数	1日平均入所者数	稼働率	平均介護度	平均在宅復帰率
80名	26,160人	71.7人	89.6%	2.7	27.9%

※短期入所者、介護予防短期入所者含む

	稼働率	平均介護度
4月	87.9	2.6
5月	84.9	2.6
6月	86.4	2.7
7月	86.8	2.8
8月	88.0	2.8
9月	89.4	2.8
10月	89.6	2.7
11月	90.9	2.7
12月	89.6	2.7
1月	91.9	2.7
2月	93.3	2.7
3月	97.1	2.7

入所者介護度状況

R3.3.31

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
男	5	3	3	4	0	0	15人
女	10	15	14	15	6	1	61人
計	15	18	17	19	6	1	76人

年間入退所先状況

入退所先区分	家庭	医療機関	介護福祉施設	介護保健施設	その他	永眠	計
入所者数	340	44	0	2	1	0	387人
退所者数	319	39	8	9	4	1	380人

年齢性別状況表

R3.3.31

	65未満	65～69	70～79	80～89	90～	計	平均年齢
男	0	1	2	4	8	15人	86.6
女	0	1	6	20	34	61人	88.9
計	0	2	8	24	42	76人	88.4

## 生活困難者を対象者とする費用の減免等の状況

入所者延数	無料低額入所者数			無料低額 入所率
	生活保護対象者	減免対象者	計	
26,160 人	1,095 人	1,543 人	2,638 人	10.06%

## リハビリ実施状況

今年度は感染症対策のため、実施場所を原則居住フロア内に制限して機能訓練・日常生活動作訓練等を実施した。

ご利用者の心身機能の維持・向上を目的に専門職による徒手訓練、ホットパックなどを用いた物理療法等により体力・筋力向上を行い、日常生活動作訓練により周辺動作の維持・向上に取り組んだ。また、入所後早期に集中的なりハビリを実施するため、ご自宅を訪問して情報を収集し、それを基に短期集中リハビリ・認知症短期集中リハビリにて在宅復帰・在宅支援が実現できるように取り組んだ。

栄養状態の低い方は運動により筋肉量の減少が引き起こるため、身体能力の効果的な増強を目的に、管理栄養士と協働し必要に応じてリハビリ栄養を提供した。

## 《活動実績》

短期集中リハビリ：2,670 件

- ・関節可動域訓練 ・筋力トレーニング ・バランス練習 ・立ち上がり練習
- ・屋内外歩行練習 ・屋内外階段昇降練習 ・食事・更衣・入浴・排泄動作練習
- ・起居動作練習 ・床上動作練習 ・食事配膳動作練習・自主トレーニング指導

認知症短期集中リハビリ：1,496 件

- ・記憶の訓練 ・各種動作認知訓練（姿勢保持・端座位・立位・バランス・移乗・歩行）

## 機能訓練等の実施内容

R3.3.31

	フロア	
	午 前	午 後
月・水～日	集団体操	歩こう会/個別リハビリ/塗り絵・手工芸/学習療法
火	集団体操 音楽レクリエーション	歩こう会/個別リハビリ/塗り絵・手工芸/学習療法



日 課 表

時刻	在 苑 者	職 員	勤務時間帯
6:30	起床 パジャマ着交 洗面・口腔ケア	離床・誘導 洗面介助 パジャマ着交 義歯確認（装着）	
7:00	水分補給（牛乳） 朝食（8:15～）	水分補給介助 朝食準備・介助・口腔ケア	
8:00	排泄（介助） 整容・水分補給（コーヒータム）	排泄介助・環境整備・朝食下膳、片付け 日誌記入・朝食・整容介助	
9:00	入浴（月～土） 排泄（介助）	朝礼・シーツ交換（火～金）・委員会 排泄介助・入浴介助（月～土）・足浴・爪切り	
10:00	水分補給 集団リハビリ・レク	水分補給介助 洗濯干し リズム体操 嚙下体操 etc.	
11:00	個別リハ・手洗い 昼食（11:45～）	嚙下体操・手洗い誘導 昼食介助（11:45～） 義歯確認	
12:00	口腔ケア	口腔ケア・臥床介助・昼食下膳、片付け 排泄介助	
13:00	排泄（介助）	昼食 カンファレンス	
14:00	ラジオ体操・集団レク 入浴（月～土）・個人リハビリ	レク・バイタルチェック・入浴介助 個人リハビリ介助・歩こう会・屋外体操・記録	
15:00	おやつ・水分補給 排泄介助 レッドコード	おやつ・水分補給 会議 排泄介助 レッドコード	
16:00	軽作業 食器拭き 洗濯たたみ	記録（日誌及び個人記録） ゴミ捨て	
17:00	嚙下体操 手洗い	申し送り 手洗い誘導・夜間用ポット配茶	
18:00	夕食 口腔ケア 排泄（介助） パジャマ着交	夕食介助・口腔ケア・排泄介助・義歯預かり 臥床介助・パジャマ着交・夕食下膳、片付け	
19:00	排泄（介助）	夕食・下剤調整 オムツ交換	
20:00	水分補給（適宜） 眠前薬服用	水分補給・排泄表確認 投薬	
21:00	消灯 消毒（フロア）	トイレ掃除、床、手すり等 消灯	

日 課 表

時刻	在 苑 者	職 員	勤務時間帯
22:00		22:30 (以降2時間おきの巡回) センサー確認	
23:00		※個々に応じてトイレ誘導、体調不良者 体位変換 (2時間/毎)	23:00 B 仮眠
0:00		チェック (発熱者、高血圧者)	
1:00	随時排泄介助 巡回 (2時間/毎)	ナースコール対応 ・日誌記入	1:30
2:00		・ファイル記入	2:00
3:00		・各書類の準備	A 仮眠
4:00		・ワークステーション整理 ・うがい用コップ ・ティ用コップの消毒	
5:00	排泄 (介助)	配茶準備 排泄介助・衣服着交 ポータブルトイレ、尿器掃除・片付け	4:30

看護業務表

時刻	日 勤	時刻	夜 勤
9:00	朝礼 (全体会日のみ) 申し送り	出勤~17:00	情報収集
9:30	医師回診介助 体調不良者観察	17:00	内服薬点検・血糖測定者の確認 (3・4F) 夕の内服薬の準備
10:00	バイタル測定 排便チェック	17:30	胃ろう注入 (夕食) の手伝い
	点眼・血圧測定・処置利用者入退所対応	17:50	夕食前血糖測定 (3・4F) 夕食前薬与薬
	注入食者の口腔ケアと注入食の準備	18:20~ 18:40	夕食配膳 夕食後薬配薬 (3F 東ユニット) フロア見守り 口腔ケア (3F 東ユニット)
11:00	胃ろう注入 (水分) 開始・フロア見守り対応	19:30	口腔ケア物品の消毒
11:50	入所者昼食・配膳	20:00	フロア待機 見守り 眠前薬の白湯準備 眠前薬投与
12:00	胃ろう注入 食事介助 (西フロア) 与薬 口腔ケア	21:00	最終の方が就寝されるまでフロア待機 ナースコール対応
	注入食者の確認と注入食終了後片づけ 入力		バイタルサイン測定・記録
	バイタル測定 (必要時のみ)		

時刻	日 勤	時刻	夜 勤
	フロア見守り	23:00~1:30	休憩（仮眠）
14:00	処置	1:30	必要な方の体位変換介助
	定期薬分包・医師回診介助		巡視 ナースコール対応
14:30	※適宜 委員会・会議参加及び開催	4:30	オムツ交換
	利用者入退所対応		バルンパック内の尿量測定、性状観察、廃棄
15:30	胃ろう注入者の口腔ケアと注入食の準備	6:00	バイタルサイン測定 採血 血糖測定
	排便チェック・下剤の準備	6:30	胃ろうの方の口腔ケア
16:00	バイタル測定	7:00	胃ろう注入
16:30	胃ろう注入（水分）	7:50	インシュリン注射施行 朝食前薬配薬 採血
17:00	貼布薬対応 点眼	8:00~8:30	朝食事配膳・与薬・食事量入力（東フロア）
	記録（入力）胃ろう注入	8:30~9:00	口腔ケア（3F 東ユニット）
	ワークシートチェック	9:00~9:30	記録
18:00	申し送り（配膳・食前薬配薬）		終了
	終了		

### 週 課 表

	月	火	水	木	金	土	日	備 考
医師回診	○	○	○	○	○			
精神科医診察								月2回
歯科医診察			○		○			随 時
シーツ交換		○	○	○	○			週1回
入浴	一般浴	○	○	○	○	○		週2回
	リフト浴	○	○	○	○	○		週2回
	機械浴	○			○			週2回
集団リハビリ	○	○	○	○	○	○	○	
レクリエーション	○	○	○	○	○	○	○	

## 月 間 表

区 分	内 容	実 施 日	備 考
レクリエーション	クッキング・園芸	随 時	
	誕生日会	月 1 回	
	カラオケ	随 時	
	ドライブ・バイキング	随 時	
整 容	散 髪	月 2 回	毛染め・パーマは随時
売 店	売 店	月 4 回	無人販売にて営業

## 年間行事実施状況

月	行 事	実施	実 施 概 要
4 月	花見（施設内）	2 日	季節を感じ他者との交流を図る
9 月	敬老会（施設内）	21 日	敬老を祝い、季節のお菓子やお茶を味わう
10 月	RUN 伴 2020		RUN 伴に参加し、地域との交流を図る
11 月	秋祭り（施設内）	20 日	屋台やゲーム、地域の秋祭りの映像を観賞、秋の祭りを楽しむ
12 月	クリスマス会	23 日 24 日	季節の行事を楽しむ
1 月	新年祝賀会 （施設内）	1 日	新年の挨拶を含め全員で新年を祝う
	初詣（施設内）	3 日	今年 1 年の健康祈願
2 月	節分	2 日	季節の行事を楽しむ
3 月	ひな祭り喫茶 （施設内）	3 日	季節の行事を楽しむ
毎月	誕生会	1 回	誕生月のご利用者を他のご利用者と共に祝う
	手芸・書道 カラオケ・喫茶	随時	他者との交流を図りながら趣味活動を楽しむ

## 8. 認知症対応型共同生活介護事業所グループホームシャルルまきの

ホームでは「特別ではない普段の生活を大切に自分らしく暮らせる家」の理念を職員一同が踏襲し、認知症で不安を抱えるご入居者が住み慣れた地域で生活を継続でき、安

心して過ごせるようご家族や地域の方々の協力を得ながら支援した。

今年はコロナ禍で行事など全てが中止となったが、ホーム内でのレクリエーションや趣味活動の時間を増やし、楽しみのある生活を送っていただけるよう支援した。

引き続き、地域密着型施設として運営推進会議や家族会のご意見を受け、ご利用者・ご家族の皆様安心していただける施設運営に努めたい。

1. 入居者・家族満足度向上

- ・入居者会議の開催と反映
- ・ホームだよりの充実（月1回発送）

2. 地域からの信頼度向上

- ・書類送付による運営推進会議の開催

3. 経営基盤の安定

- ・収入確保：稼働率の維持 98.5%
- ・他事業所との連携強化による円滑な入退所
- ・入院者の減少（体調管理・プラス10の活動の実施）
- ・費用削減：残業時間削減 -29時間（前年度比 -31%）

4. 業務改善

- ・ICTの活用（眠りスキャン）による夜間の巡回回数の削減
- ・認知機能維持の取り組みと評価（個人毎に計画）
- ・外部評価目標達成計画の実施（評価者：NPO法人カロア（令和3年2月実施））
- ・リスク管理の徹底

5. 人材育成・定着

- ・勉強会の定期開催（担当制・1回/月・『制度について』など）
- ・Webによる研修受講

年間稼働状況

定員	入居延人数	1日平均入居人数	稼働率	平均介護度
18名	6,470人	17.7人	98.5%	2.3

	稼働率	平均介護度
4月	96.9	2.2
5月	98.8	2.2
6月	100	2.2
7月	95.6	2.3
8月	99.5	2.3
9月	100	2.3

	稼働率	平均介護度
10月	100	2.3
11月	96.5	2.3
12月	97.5	2.3
1月	99.3	2.4
2月	99.5	2.5
3月	98.6	2.5

### 年齢性別状況表

R3.3.31

	65未満	65～69	70～79	80～89	90～	計	平均年齢
男	0	0	0	0	1	1	98.0
女	1	0	2	6	8	17	87.3
計	1	0	2	6	9	18	87.9

### 入所者介護度状況

R3.3.31

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
男	0	0	1	0	0	0	0	1人
女	0	1	8	6	2	0	0	17人
計	0	1	9	6	2	0	0	18人

### 入居前の住所状況

R3.3.31

市町村	五條市	御所市	橋本市
人数	17	0	1

### 活動状況

月	行 事	その他（地域）
4月	苑内花見 マスク作り 毎月ホームだより発行 毎月法人研修 新人研修、5年目以上研修	
5月	マスク作り てるてる坊主奉納（生蓮寺）	
6月	梅ジュース	

月	行 事	その他（地域）
6月	クッキング 白玉あんみつ 巻き寿司 ホットケーキ	
7月	七夕 芋もち、とうもろこしご飯	
8月	クッキング しそジュース いなり寿司	献血
9月	敬老祝賀会 お好みのお寿司作り おやつバイキング 防災訓練	
10月	クッキング 寒天ゼリー	運営推進会議 (4~9月活動報告資料送付) 防災学習（五條東小学校）
11月	紅葉ドライブ クッキング（つるし柿作り） インフルエンザ予防接種 胸部レントゲン撮影（座位・立位）	
12月	年賀状作り	
1月	新年会 クッキング ゆずジャム	
2月	節分 クッキング 巻き寿司 防災訓練	献血 外部評価 出前講座（五條西中学校）
3月	ドライブ クッキング インドネシア料理 おはぎ、五平餅	防災学習（五條東小学校）

日 課 表

時 間	入居者	職 員	勤務時間帯
	起床	起床・洗面介助	
	食事の準備		(7:30)
7:40	朝食	食事・見守り・服薬介助	
	食事の片づけ	食事の片づけ	(8:00)
9:00	部屋の掃除	日勤職員出勤（申し送り）	(9:00) (9:30) (9:00)
	身体活動	バイタル測定	(10:00)
		各部屋チェック	
		身体活動支援	
	入浴（ご希望の時間）	お茶の時間	
	食事準備	食事準備	
12:00	昼食	食事・見守り・服薬介助	
13:00	食事の片づけ	食事の片づけ	(13:00)
	ティータイム	お茶の時間	
14:00	身体活動	身体活動支援	
		おやつ準備	
	入浴（ご希望の時間）	入浴介助	(16:30)
17:00		夜勤職員出勤（引継ぎ）	(17:00)
18:00	食事の準備	食事準備	(18:00)
	夕食	食事・見守り服薬介助	
19:00	食事の片づけ	食事の片づけ	(19:00)
	リラックスタイム	着替え手伝い	
		お茶の時間	
21:00	消灯		
22:00		22 時以降	(22:00) (22:00)
		3 時間毎の巡回・介助	
24:00		* 随時で排泄介助	(仮眠 2.5 h)
		* 随時 消毒	(仮眠 2h)
		(感染症対応)	
		1 時間毎の換気	



## 9. 在宅部事業報告（8事業所）

新型コロナの影響が長期化する中、通所サービスでのクラスター発生の報道により軽度のご利用者が相次いでサービス利用を中止する事例が増加。また、一部の事業所では利用者に陽性者が出たことにより2週間事業を休止する事態に陥った。

居宅介護支援事業では、感染予防の一環で自宅訪問ができず利用者の実態把握が困難となり、ADLの低下や家族の介護疲れなどさまざまな問題が発生した。これまで利用していた介護が受けられなくなる「介護の空白」が起き、地域福祉の維持・向上に繋がらないと考え各事業で年間計画行動を大幅に見直し、今、我々に「何ができる」か、そして「ここがあってよかった」と思ってもらえるよう、何が必要かを考え事業展開を行った1年であった。

以下、在宅部全般の取り組みを報告し、その後に各事業所の詳細報告とする。

1. 利用者・家族満足度の向上・地域からの信頼度の向上
  - ・利用者・家族への感染予防についての案内配布（3か月1回）
  - ・利用者・家族が感染した場合・濃厚接触者に該当した場合の案内（年2回）
  - ・オンラインによる利用者の体調確認、面談の実施
  - ・【通所・小多機・訪介】利用者へ体調確認表の配布
  - ・【通所・小多機・訪介】利用前、電話による利用者・ご家族の体調確認の実施
  - ・【通所・小多機・訪介】新規利用者の受け入れ、身体状況とご家族の行動履歴を把握し早期の受け入れを実施
2. 経営基盤の安定
  - ・収入確保：稼働率の維持（各事業所報告 年間稼働率参照）
  - ・費用削減：残業時間削減 -450.75時間（前年度比 -23%）
3. 業務改善
  - ・CO2の削減に向けた取り組みの実施
  - ・【通所・小多機】密を避けた取り組み
    - 少人数制に分け距離を取ったレクリエーションの継続
    - 感染予防対策を行ったリハビリの継続
  - ・【通所・小多機】欠席されている利用者への対応
    - 健康状態確認の実施（2週間1回）
    - オンラインによるエクササイズの提供とペーパーを配布（月1回）
    - 昼食を自宅まで配達（希望者）
  - ・【通所・小多機】事業所で使用する食器を使い捨て容器に変更
  - ・【居宅】オンラインによるカンファレンスの実施
  - ・【居宅】職員が感染した場合でも対応ができる情報共有システムの構築
4. 人材の定着・育成
  - ・職員の健康管理に向けた啓発活動と職員が体調不良になった場合、いつでも休める体制作りと雰囲気作り（お互い様精神の啓発）

## 《通所系サービス》

### 1. 地域密着型通所介護事業所まきの苑

#### 五條市介護予防・日常生活支援総合事業（デイサービス）

今年度は、感染予防の観点から季節毎の行事等は全て中止したが、日々の活動の中で、楽しみながら身体を動かすことで心身の機能維持につながるような支援に取り組んだ。

#### 1. 利用者・家族満足度の向上

- ・ポイント制レクリエーション実施（各種ドリル、塗り絵、足こぎペダル等）
- ・心身に働きかけるレクリエーション
- ・「歩こう会」の実施（毎日）  
（音楽に合わせてフロア内を歩行し、花の寺巡りや日本の名城巡りを行う）
- ・個々のニーズに合わせたサービス提供体制の構築  
（短時間利用者6名＜昨年度 2名＞）

#### 2. 業務改善

- ・連絡ノートの活用（その日のデイサービスご利用時の様子を詳しく記載、ご本人、ご家族との連絡や申し送り等に活用）
- ・各種計画書の効率化（通所介護計画書、個別機能訓練計画書、バーセルインデックス等、書類の見直し）
- ・インボディ評価：インボディ測定件数（55件/月）/フィードバックの実施

#### 3. 人材育成

- ・勉強会の開催（1回/3か月 内容：感染症予防、介護保険制度、自立支援介護等）

## ＜地域密着型通所介護＞

### 年間利用状況

定員	開所日数	年間延人数	1日平均延人数	稼働率	平均介護度
18人	309日	4,711人	15.2人	84.7%	1.9

### 介護度別利用者延人数

(人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
1687.25	1666.75	708.5	357	302.25	0	4721.75

## <総合事業>

### 年間利用状況

定員	開所日数	年間延人数	1日平均延人数	稼働率	平均介護度
18人	309日	1,626人	5.3人	29.2%	1.9

### 介護度別利用者延べ人数

(人)

要支援1	要支援2	その他	計
177	1,442	0	1,619

### レクリエーション実施状況

体操やゲーム・創作活動など、体を動かすことで得られる爽快感や達成感を味わうことに加え、人と人との関わりによって生まれる安心感や喜びなどにより、心身の健康や生活の質を高めることを目的としている。「こころが動けば、体も動く」と言われるように楽しみながら行うことができる活動を各種提供している。

#### 1：趣味を増やす活動

手芸、折り紙、色鉛筆絵、工作、カラオケ、園芸、クッキング、トールペイント、編物、ネイル

#### 2：身体機能の維持を図る活動

歩こう会、みんなの体操、タオル体操、血液循環体操、軽作業（タオルたたみ）、嚥下体操、音楽・体操、体を使ったレク

#### 3：脳の活性化を図る活動

脳を鍛えるドリル、トランプ、カードゲーム、漢字パズル、頭を使ったレク

#### 4：音楽を楽しむ活動

合唱、音楽鑑賞、カラオケ、楽器演奏

#### 5：健康を増進する活動

身体測定（インボディ）、足湯

#### 6：その他

おやつ作り、お茶の間ゲーム、喫茶、ビデオ鑑賞

## 2. 認知症対応型通所介護事業所まきの苑（デイサービス認知症型）

小さな単位で支援を行い、職員との馴染みの関係を築くことにより、認知症のあるご利用者がゆったりと安心して過ごしていただける空間作りを心がけた。また、個別レクの提供や必要性の応じた運動器具の活用を行い、心身の機能の維持・向上を図ることで、

ご利用者が主体性を持ち活動できる支援を行うことができた。

ご利用者が在宅生活を継続できるようニーズに応じた利用時間の延長・利用日の振り替え・スポット利用による柔軟なサービスの提供を行い、ご家族の介護負担の軽減を図るとともに、ご利用者の利用時の様子を密にお伝えすることでご家族との信頼関係を築くことができた。

1. 利用者・家族満足度の向上

- ・柔軟なサービスの提供

(利用日の振り替え・利用時間の延長・スポット利用)

サービス提供率：90% (前年比：-5%)

- ・運動器具の活用・定着

運動器具を使用しリハビリが必要な方については、利用時に継続してリハビリを実施。(実施率：60%)

2. 経営基盤の安定

- ・収入確保

- ・新規利用10名獲得 (前年度：±0)

- ・新規利用の相談に対する面接の実施 (1週間以内) 達成率100%

3. 業務改善

- ・各利用者様の短期目標達成に向けた取り組み

短期目標改善率：30% (前年度：+15%)

- ・マニュアル (断捨離) の実践 (1回/月)

フロア会議 (書面) で改善策の検討、タイムスケジュールの見直し

- ・ヒヤリハット (33件) の対策を共有・実施 (前年度比：-23件)

結果：事故件数5件 (前年度比：±0%)

4. 人材育成

- ・毎月テーマを決めWEB研修で学習する (結果：3回/年)

- ・接遇マナーの向上

接遇マナーについてWEB研修で学習する (結果：3回/年)

年間利用状況 (介護予防含む)

定員	開所日数	延人数	一日平均利用者数	稼働率	平均介護度
10人	323日	1,904人	5.9人	58.9%	2.2

介護度別利用者延人数

(人)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
0	0	633.75	439	686	95.5	39	1897.25

## レクリエーション実施状況

ご利用者に楽しいと感じる時間を過ごしていただけるよう、週単位でプログラムを計画し、実施した。

### 1. 趣味を生かす活動

塗り絵、手芸、編物、絵手紙

### 2. 身体機能の維持を図る活動

屋外歩行、嚙下体操、骨盤底筋体操、運動器具の活用、外出支援

### 3. 脳の活性化を図る活動

計算ドリル、はめえパズル、ジグソーパズル、図形描写（脳トレ）、漢字ドリル

## 3. 通所リハビリテーション事業所ルポゼまきの（デイケア）

要介護者の生活動作改善を目的として、セラピストによる徒手訓練、ホットパックやマイクロ治療器を使った物理療法、サーキットトレーニングによる体力、筋力向上に取り組んだ。新規ご利用者はもちろん、ご利用者の身体状況に変化があった時にはケアマネージャーと一緒に自宅を訪問し、安全に生活できるようにご家族への介助方法の指導、家屋環境の調整を実施した。例えば、自宅玄関に手すりを取り付けることでご家族の介助なしで上がり框を昇降できるようになり、外出がスムーズに行えるようになった事例をはじめ、多くの事例を経験することができた。

感染症予防に重点を置きながら、病院退院後早期に集中的なリハビリテーションが必要とされるご利用者を積極的に受け入れる体制作りを行い、医療福祉連携に努めた。その結果、生活機能が向上して通所リハビリテーションを卒業（終了）されるご利用者の数も増えた。

### 1. 利用者・家族満足度の向上

- ・ケアプラン短期目標改善率 20%

### 2. 経営基盤の安定

- ・収入確保： 各種加算算定件数：短期集中リハビリ算定件数  
(年間 690 回 前年度比：1%)

### 3. 業務の効率化

- ・利用状況報告書に代わるものとしてインボディ測定用紙を用いた入力作業の削減（年間残業代 前年度比：-53%）
- ・インボディ評価：測定件数 65 件/月（前年度比：8%）

### 4. 人材育成

- ・資格取得者の増員：フレイル（加齢に伴い身体の前備能力が低下し、健康障害を起しやすくなった状態）予防推進マネージャー 1 名
- ・勉強会の開催（1 回/4 ヶ月 内容：新入職員研修）

### 5. 人材の定着

- ・職員面談を随時実施（12 件 前年度比：-15%）

年間利用状況（介護予防含む）

実施日数	延人数	1日平均利用者数	稼働率
308日	12,383.25人	40.2人	80.4%

介護度別利用者延人数 (人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
4,363.5	3,241.75	1,427.5	1,057.75	197.75	0	10,288.25

介護度別利用者延人数（介護予防） (人)

要支援1	要支援2	その他	合計
246	1,849	0	2,095

日課表

	ご利用者
9:00	迎え
9:30	健康チェック
10:00	個別リハビリ・リズム体操
10:30	個別リハビリ・リズム体操
11:30	手洗い・口腔体操・昼食準備
12:00	昼食
12:45	口腔ケア・後片づけ
13:00～15:00	入浴
14:00～15:00	グループリハビリ・リズム体操
15:00～15:15	おやつ
15:15～	帰宅準備
15:30	送り

年間行事実施状況

	行事
4月	花見・買い物
5月	母の日
6月	あじさい見学
7月	七夕
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	コスモス見学・買い物
11月	紅葉見学
12月	クリスマス会・忘年会
1月	お正月・初詣
2月	節分（豆まき）
3月	雛祭り

レクリエーションの実施内容

5月	手芸	10月	ショッピング
6月	歯の衛生週間	11月	紅葉見学
7月	七夕	12月	クリスマス会

※毎月、誕生日週間

## 4. 通所介護事業所 音和舎 善

地域の他の事業所や専門職等の連携を大切にし、ご利用者の社会参加が実現できるよう働きかけた。特に本年は新型コロナウイルスの影響もあり、人口密集地などは避け、人との接触機会の少ない屋外での実践歩行に努めた。

ご利用者お一人おひとりが、目標としているゴールにたどり着くための運動内容を、エビデンスに基づいた評価から適切にサービス提供できるよう、理学療法士主管のリハビリツールを使用し、個別のリハビリプログラムを実施した。

### 1. 満足度の向上

- ・利用目的の実現：個別機能訓練実施計画書達成率 100%
- ・介護予防の拡充としてフィットネスクラブの継続（詳細は別途記載）

### 2. 経営基盤の安定

- ・収入確保
  - ・要介護1、2の方の受け入れ
    - 要支援の方、音和舎利休へ移行 (28名/年)
    - 要介護の新規受け入れ件数 (42名/年)
  - ・営業活動の推進：訪問営業年間3回 事業所・・・5件 病院・・・3件
  - ・多様なニーズへの対応（3/31現在）
    - 食事付きプラン 週28件、時短プラン 週1件
    - 認知症の方：アルツハイマー型認知症4名
  - ・必要人員以上の日は、他部署応援（デイケア・認知症デイ）
  - ・効率化のための送迎ルートの見直し（毎日）

### 3. サービスの質向上

- ・インボディの測定結果とトレーニングマシン（フー）評価システムから現在の状態を可視化。適切な運動プログラムを提供。結果：筋力の維持率88.6%（内筋力向上53%）
- ・転倒予防のエクササイズ強化とバランス能力の維持
- ・生活習慣病予防や認知症予防のための有酸素運動を実施（毎日）
- ・社会参加の推進（毎月実施）
- ・目的別体操プログラムを実施し、個別メニューの充実を図る

### 4. 業務改善

- ・毎月の残業要因分析により業務改善（残業削減率 81.1%）
- ・断捨離マニュアルによる業務の公平性、効率化の検討（1回/月）
- ・感染症マニュアルの作成と一元化と感染対策を講じた業務改善の推進

### 5. リスクマネジメント

- ・ヒヤリハットの共有：対策を検討・実施（41件/年）（前年度比：+103%）

### 6. 人材育成

- ・業務マニュアル、職務級行動の徹底

## 利用状況

定員	利用延べ日数	利用延べ人数	稼働率	平均介護度
18名(2部制)	211.5日	4,833人	53.3%	1.5

## 介護度別利用者延べ人数

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	835	1,597	1,270	942	126	63	0

## 季節の行事・イベント実施状況

月	内 容
4月	御廟(桜)
5月	金剛寺(牡丹)
6月	恋野あじさい園
8月	買い物ツアー
9月	5万人の森
11月	杉村公園(菊)
1月	犬飼寺(初詣)

## フィットネスクラブ“楽”

感染症対策のためほぼ休止であったが、開催時には10名以下の予約制を導入。手袋着用の上使用後機器類は全て消毒を行い、感染対策を講じて実施した。

## 利用状況

登録者数	平均利用人数	平均年齢
285人	26.9人	72.0歳

## トレーニングメニュー

ストレッチ	自転車エルゴメーター
コア体操	ノルディックウォーク
有酸素体操	マッサージ・リラクゼーション
マシントレーニング	ウォーターエルゴメーター
プレミアムジムエクササイズ	



## 5. 通所介護事業所 音和舎 利休

ご利用者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生最期まで続けることができるように市町村が進める「地域包括ケアの実現」を推進すべく、がん予防・認知症予防・腰痛予防・うつ予防などの介護予防に力を入れると共に、整形医師との連携を図ることで、在宅に於いて自立した日常生活を続ける事ができるように支援した。

### 1. 利用者・家族満足度の向上

- ・地域信頼度の向上
- ・交流会開催
- ・フィットネス開催
- ・苦情・要望の改善（苦情件数10件）

### 2. 稼働率の確保

- ・空き状況の情報提供
- ・病院・診療所へのパンフレット等の送付
- ・法人内での情報共有
- ・要支援2 週1回から週2回利用（利用者の5%）
- ・欠席時の変更提案（随時実施）
- ・社会参加・屋外実践リハビリ実施（感染対応を踏まえて少人数で実施）  
令和2年12月、令和3年3月 パークゴルフ

### 3. サービスの質の向上

- ・「InBody」（実施率100%） 「姿勢測定」（実施率15%）  
実施、測定結果後、専門職による評価、運動メニューの提供
- ・病院との連携（受診時、利用状況報告書作成）（件数10%）
- ・必要マニュアルの確認・追加（感染対応策マニュアル随時）

### 4. リスク管理

- ・ヒヤリハットの共有（ヒヤリ件数50件）

### 5. 人材育成

- ・勉強会実施（WEB）（『接遇の理解と言葉遣い』『転倒予防』等）

## 内容

4月	接遇の理解と言葉遣い
6月	高齢者の転倒予防
9月	ヒヤリハットの目的と意義
11月	感染対応について
1月	クレームと苦情

利用状況（従前相当）

定員	利用延べ日数	利用延べ人数	稼働率	平均介護度
20名(2部制)	202.5	145	3.6%	0.6

利用状況（サービスA）

定員	利用延べ日数	利用延べ人数	稼働率	平均介護度
32名(2部制)	202.5	4,225	65.2%	0.6

介護度別利用者延べ人数

	稼働率		平均介護度		利用状況	
	従前相当	サービスA	従前相当	サービスA	延べ人数	利用日数
4月	1.0%	39.1%	0.5	0.6	254	20
5月	0.5%	31.0%	0.5	0.6	220	22
6月	2.0%	42.5%	0.5	0.6	308	22
7月	3.2%	81.7%	0.5	0.6	375	14
8月	3.3%	80.7%	0.5	0.6	159	6
9月	3.3%	70.2%	0.5	0.7	347	15
10月	4.2%	75.2%	0.5	0.7	386	15.5
11月	5.5%	79.0%	0.6	0.6	394	15
12月	6.8%	66.7%	0.6	0.6	386	17
1月	5.6%	77.8%	0.6	0.7	468	18
2月	5.0%	83.2%	0.6	0.7	497	18
3月	4.5%	87.2%	0.7	0.7	576	20

6. 小規模多機能型居宅介護事業所 音和舎 扇寿

3月3日に竣工することができた。1月から営業、ご利用者のサービス利用の見直しを行い、利用目的に応じて扇寿の利用へ移行した。開始1か月弱のため報告できることはないが、年度末時点で利用定数は埋まっている状況である。

《訪問系サービス》

訪問介護事業所 音和舎 布乃香（ホームヘルプサービス）

ご利用者からのニーズに迅速な対応ができるよう支援体制の強化と、ご利用者が安心してサービスを受けられるよう感染症予防を徹底し、皆で協力し合い緊急訪問依頼のあ

る時や介護保険外サービスにも対応し、自宅で安心して自立した日常生活を営むことができるよう支援した。

1. 独居・高齢者世帯などの多様な生活の支援
  - ・ヘルパーの体調を利用者へ報告し自宅訪問を実施
  - ・家事援助(調理)について感染予防に努めてほしいと言われる方には弁当を配達
  - ・長期入院者・ショート入所者の情報を収集し、営業活動を行い在宅復帰後の訪問介護サービス開始(8件/年)
2. 収益の確保
  - ・近隣の養護老人ホームと連携とサービス提供
  - ・健康相談の実施(感染者が減少した9月下旬から10月にかけて実施)
  - ・身体介護プラン提供時間割合率増(前年比:+4%)
3. 業務改善
  - ・感染症対策として訪問者を担当制に変更
  - ・記録業務の簡素化に向けヘルパー各自で記録用紙のチェック。タブレット入力に向け準備。
  - ・マニュアルに沿った活動ができているかの確認と改善(業務会議)
4. 人材育成
  - ・身体介護技術向上の勉強会を随時開催  
サービス提供責任者が同行訪問。不安軽減や問題を解決  
(40件/年 解決率:100%)
  - ・ヘルパー会議で接遇について振り返り、勉強会を開催(1回/月)

#### 年間活動状況(介護予防含む)

訪問回数	5,044 回	内訳 (時間)	身体介護	1139
サービス提供時間	4336.75 時間		生活援助	3197.75

#### 年間介護度別実人数(要介護)

月 介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	16	15	14	15	14	12	11	11	14	12	12	12	158
要介護2	8	9	9	10	9	8	8	8	10	11	11	10	111
要介護3	6	6	5	4	4	5	5	5	4	4	4	5	57
要介護4	2	3	3	4	4	4	4	3	3	3	3	4	40
要介護5	2	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	16
合計	34	34	33	35	33	30	29	28	32	31	31	32	382

年齢性別状況表（要介護）

R3. 3. 31

	65～69	70～79	80～89	90～	計（名）
男	1	1	3	0	5
女	0	3	10	14	27
計	1	4	13	14	32

年間介護度別実人数（介護予防）

月 介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	6	6	6	6	6	7	8	8	9	9	8	7	86
要支援2	9	9	9	9	8	10	10	10	10	9	10	7	110
合計	15	15	15	15	14	17	18	18	19	18	18	14	196

年齢性別状況表（介護予防）

R3. 3. 31

	70～79	80～89	90～	計（名）
男	1	3	0	4
女	2	5	3	10
計	3	8	3	14

## 《居宅介護支援》

### 居宅介護支援事業所 音和舎 彩羽

感染症対策をしながら、なるべく通常の業務を執行できるよう常に工夫する1年であった。直接訪問、対面での会話が難しい状況であったが、適切な保険医療・福祉サービスが、総合的・効率的に提供される様、ご利用者の立場に立った公正中立なサービス提供に努めた。

<稼働実績> 月平均プラン数 33.5件/人

1. 地域の方々や行政機関・医療機関・サービス事業所との信頼関係の構築
  - ・WEB研修やリモートでの意見交換会参加による他事業所や行政・医療機関とのネットワーク作り。
  - ・ご利用者の要望を伺い要望があれば法人内事業所へ迅速に伝達。

(月平均1件)

2. 経営基盤の安定

収入の確保：プラン数の確保 月平均33.5件（前年度とほぼ同件数）

### 3. 業務改善

- ・マニュアルに沿った業務と記録の簡素化
- ・既存のマニュアルの見直しを順次実施し、会議で周知を行った（1件/月）
- ・相談業務の時間設定

感染症対策のため自宅訪問を控え、電話でのモニタリングや新規調整もできる限り電話での調整に変更。簡潔にわかりやすく情報を収集する方法をマニュアル化し、時間短縮を図り業務の効率化に繋げた。

- ・自立支援の為に質の良いケアプランの作成

（件数 30 件/年）前年度比：+5 ポイント

### 4. 人材育成

- ・『月間ケアマネージャー』の回覧と情報共有。
- ・業務マニュアルの行動の徹底（1回/月）  
既存のマニュアルの見直しを順次実施し、会議で周知を行い満足度向上に繋がった。（ケア満足度 72.1% 前年度比：+1.4%）
- ・職務級行動の徹底（職務級ごとに実施）
- ・日々の情報収集と情報提供、市による3ヶ月に1回のケアプランチェックを受けることでマニュアルの変更などを周知し、ひとり一人の専門性を高めることができた。

#### 居宅サービス計画（ケアプラン作成）

要介護認定に伴う訪問調査の結果、要介護（1～5）の方々についてどのようなサービスが必要か、ご利用者本人やご家族等と相談の上、適切な在宅または施設サービスが利用できるように計画を立て、サービス提供事業者へ連絡調整した。

年間居宅サービス計画実施件数（平均介護度 2.20）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	71	65	63	65	68	62	61	61	60	63	62	58	759
要介護2	59	68	65	61	57	58	63	60	63	65	66	57	742
要介護3	33	32	33	31	35	35	34	37	41	39	39	34	423
要介護4	20	21	23	26	24	24	25	27	26	24	24	27	291
要介護5	6	5	6	9	9	8	8	7	8	9	8	8	91
合計	189	191	190	192	193	187	191	192	198	200	199	184	2306

#### 介護予防サービス計画実施件数

五條市地域包括支援センターの受託事業として要支援 1、2 のの方々について可能な限りその居宅において自立した日常生活が営めるよう介護予防サービス計画を立て、指定サービス事業者へ連絡調整した。

年間介護予防サービス計画実施件数 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	26	24	26	27	27	27	29	31	29	29	28	29	332
要支援2	45	36	42	43	41	42	44	42	41	39	40	41	496
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実施件数	71	60	68	70	68	69	73	73	70	68	68	70	828

#### 要介護・要支援認定申請代行（新規・更新・区分変更）

ご本人やご家族が市役所へ申請に行けない場合、介護支援専門員（ケアマネージャー）が代行申請している。

#### 要介護認定調査（五條市より受託）

要介護認定の為、各家庭等を訪問し、ご利用者本人の心身の状態などについて聞き取り調査を実施。今年度は、感染症対策のため本人家族の希望があれば、3ヶ月ごと、最長1年の延長期間が設けられ、極力市役所認定調査員が実施したため、委託件数は減っている）

要介護認定調査実施件数 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施件数	1	0	0	1	0	3	0	0	1	0	0	0	6

## 10. 栄養課

コロナ禍でも食を通して季節を味わい、行事を楽しんでいただけるよう行事食の工夫をした。新たに食材管理部として地元の五條市をはじめ、奈良県内・近隣で生産される食材を積極的に使用し、地域との交流に繋ぐことができた。

また、引き続き地域の健康相談など食を通して地域の方々と交流し、法人の内外を問わず信頼される栄養課を目指したい。

### 1. 利用者・家族満足度の向上

- ・行事食の充実

### 2. 地域信頼度の向上

- ・在宅介護者、地域住民に向けた栄養、健康相談の実施（18回）
  - ・地元の食材を利用し、地域との交流と食品ロス対策を図る。
3. 経営基盤の安定
- ・食事におけるコスト管理
  - ・食材費の把握と在庫管理で食品ロスをなくす取り組みの強化
4. 業務改善
- ・厨房職員との連携の強化
  - ・献立内容の見直しと改善
5. 人材定着
- ・Webを活用した研修へ参加
  - ・勉強会の開催（12回）

一日当たり、給与目標量及び平均給与量

	エネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	カルシウム (kcal)	鉄 (mg)	レチノール ( $\mu$ g RE)	VB1 (mg)	VB2 (mg)	VC (mg)
給与目標	1,600	60.0	600	6.0	650	0.90	1.10	100
平均給与量	1,629	64.7	703	10.7	633	0.83	1.07	90

食事形態調べ(特養)

R3.3.31

主 食			副 食		
食事形態	人数	%	食事形態	人数	%
ごはん	64	42.7	普通	38	25.4
おにぎり	3	2.0	なごみ	72	48.0
粥	49	32.7	ゼリー	33	22.0
パン	4	2.7	経管栄養	2	1.3
ゼリー	23	15.3	嚥下食	5	3.3
経管栄養	2	1.3			
嚥下食	5	3.3			
合計	150	100.0	合計	150	100.0

\*在所 156名（うち入院6名）

食事形態調べ(老健)

R3.3.31

主 食			副 食		
食事形態	人数	%	食事形態	人数	%
ごはん	60	77.0	普通	38	48.8

主 食			副 食		
食 事 形 態	人 数	%	食 事 形 態	人 数	%
おにぎり	4	5.1	なごみ	31	39.7
粥	5	6.4	ゼリー	3	3.8
ゼリー	3	3.8	経管栄養	6	7.7
経管栄養	6	7.7			
合 計	78	100.0	合 計	78	100.0

\*在所 78 名

令和 3 年 3 月 8 日～令和 3 年 3 月 14 日

・色の付いている日はフロアで炊飯

### 常 食 献 立 表

	朝 食		昼 食	夕 食	おやつ	
	和 食	洋 食			常食	糖尿
8 (月)	野菜雑炊 大根信田煮 卵豆腐 牛乳	パン ジャム&マーガリン 大根サラダ デザート 牛乳	ごはん(半量)  ちゃんぽん麺 春巻き デザート	ごはん  鮭の照焼き さつまいのクリーム煮 ひじきサラダ	上生桜こしあん	エリーゼ
9 (火)	お粥 白菜とアサリの煮物 金時豆甘煮 牛乳	パン ジャム&マーガリン 白菜とベーコンの コンソメ煮 デザート 牛乳	ごはん  アジのねぎ焼き がんもの煮物 ほうれん草のごま和え のっぺい汁 デザート	ごはん  牛肉の甘辛炒め じゃが芋のたらこ炒め 春雨サラダ	雪の宿	白い風船
10 (水)	お粥 野菜の卵とじ 漬物 牛乳	パン プレーンオムレツ デザート 牛乳	《誕生会》 赤飯 サラダの西京焼き かき揚げ 菜の花のピーナツ和え 赤だし デザート	ごはん  柿のマスタード焼き 大豆と竹輪の煮物 けんちん菜の錦糸和え	チョコバウム	ブルーベリーゼリー
11 (木)	かに雑炊 ほうれん草お浸し デザート 牛乳	パン ジャム&マーガリン ほうれん草のソテー デザート 牛乳	ごはん  カレイの唐揚げ ピーマンのじゃこ炒め 白菜のおかか和え 中華スープ デザート	ごはん  鶏のもろみ焼き 大根のえびあんかけ ブロッコリーのツナ和え	シルベーナ	ムーンライトクッキー
12 (金)	茶粥 卵とじ 漬物 牛乳	パン ジャム&マーガリン スクランブルエッグ デザート 牛乳	ビーフカレー 和風サラダ 漬物 デザート ジョア	ごはん  赤魚の照焼き さつまいの甘煮 菊菜のなめ茸和え	黒糖まんじゅう	おにぎりせんべい



	朝食		昼食	夕食	おやつ	
	和食	洋食			常食	糖尿
13 (土)	しらす雑炊 白菜の煮浸し デザート 牛乳	パン ジャム&マーガリン 白菜の ドレッシング和え デザート 牛乳	ごはん かぼの味噌煮 アパウとエビの炒め物 菜の花の辛子和え 味噌汁 デザート	ごはん 豚の生姜焼き ひじき煮 きゅうりの酢の物	マドレーヌ	サツポロポテト
14 (日)	お粥 キャベツの煮浸し のり佃煮 牛乳	パン ジャム&マーガリン キャベツのソテー 杏仁フルーツ 牛乳	ごはん 牛すき焼き風煮 長芋のゆかりがけ 清汁 デザート	ごはん 太刀魚の蒲焼き きんぴらごぼう もやしナムル	星たべよ	青りんごゼリー

## 1.1. 総務部

感染症対応に係る必要物品の手配の迅速な対応で現場の対策の推進を支え、関連する補助金の調査、申請により早期の金銭面での補填を確実なものとした。

また、業務二人体制を確立し、総務内のチェック体制を整えると同時に、有事の際にも事務業務が滞りなく継続すべく、チーム分けを行い、日常業務を遂行するなど安定した業務処理ができる体制作りに務めた。

### 1. 利用者・家族満足度の向上

- ・請求誤り件数 10 件（前年度 6 件）
- ・請求マニュアルの改善
- ・ホームページの更新・管理

### 2. 経営基盤の安定

- ・各事業所に対し各統計データの提示（毎月）
- ・予算執行状況の月次報告
- ・補助金対象事業の調査と提案
- ・物品管理方法の見直し
- ・契約期間の管理・更新時の契約内容見直し

### 3. 業務改善

- ・総務内チェック体制・業務二人体制の確立
- ・各種管理体制の見直し

- ・既存マニュアルの運用・改善
  - ・既存PCシステムの見直し
4. 人材定着・育成
- ・Webを活用した研修への参加

## 12. 各種委員会の活動内容と活動実績報告

※新型コロナウイルス感染対策のため、オンライン形式もしくは書面での開催

### 法人

#### 1. 経営会議

活動内容	法人の運営及び経営の方針を各施設運営に反映させるための施設代表者会議
	中長期目標を決定し当該年度の事業計画を作成実施する
	両施設の運営が円滑に行えるよう施設間の調整を行う
	予算の執行
	就業規則、給与規定、及び各種規定の整備
	職員の意識調査を行い、施設運営に反映する

#### 2. 人事委員会

活動内容	人事に関することの決定機関
	賞与、昇給（減給）、昇格（降格）、昇進、異動等を決定する
	人事考課制度の推進

#### 3. リスク管理委員会

活動内容	主に新型コロナウイルスインフルエンザ対策会議での決定事項を法人全体に配信。その時々に必要な物品、事業継続準備、初動対策教育を実施。
------	---

#### 4. 防災委員会

活動内容	施設利用者及び職員の安全を図るため、防災計画を立案実施する	
	消防訓練及び防災訓練を実施し、防火・防災に関する職員教育を実施する	
	防災マニュアル、職員緊急連絡網等の整備	
活動実績	9月	防災訓練

活動実績	10月	防災メール訓練
	2月	避難誘導訓練
	3月	避難誘導訓練

#### 5. 広報委員会

活動内容	機関誌“ふくろう通信”の編集発行	
	広告・チラシ・パンフレット・ブログの企画、編集、発行	
活動実績	随時	ホームページ、ブログ更新

#### 6. 食事調整会議

活動内容	毎月1回委託業者を交え、食事面での課題や問題点について協議する	
活動実績	随時	食事調整会議の実施

#### 7. 法人研修委員会

活動内容	新入職員研修を新人職員、正職員5年目以上職員に実施。基本の学びを共有し直す。	
活動実績	4月	新入職員研修（感染症対応版）
		法人の理念と方針（ふくろう新聞）
		法令遵守・プライバシーの保護・個人の尊厳（ふくろう新聞）
		接遇研修（レジュメ）
		介護保険研修（レジュメ）
	5月	人事考課研修（被考課者）
		身体拘束等の適正化研修（レジュメ）
	6月	感染症予防研修（南和感染症連絡協議会 COVID19）及びWEB研修
		新人職員研修及び正職員5年目以上研修
		役職者研修（パワーハラスメント防止法）
	7月	新人職員研修及び正職員5年目以上研修
		役職者研修（コーチング）
		メンタルヘルス研修（双方向）
		事故防止・事故発生時の緊急対応、苦情対応（WEB）
	8月	高齢者虐待防止研修（WEB研修）
		新人職員研修及び正職員5年目以上研修
		メンタルヘルス（オンラインサロン）
	9月	役職者研修（メンタルヘルス研修）
		水害土砂崩れ防災研修（WEB研修）
		新人職員研修及び正職員5年目以上研修
10月	メンタルヘルス研修（双方向）	
	新人職員研修及び正職員5年目以上研修	
		認知症・認知症ケア研修（レジュメ）

活動実績	10月	人事考課研修（被考課者）
	11月	感染症対策評価（南奈良総合医療センター） 新人職員研修及び正職員5年目以上研修
	12月	フレンドシップ研修
		新人職員研修及び正職員5年目以上研修
		技能実習生受入研修
		感染症クラスター事例DVD研修
	1月	新人職員研修及び正職員5年目以上研修
		事故防止・事故発生時の緊急対応、苦情対応（WEB）
		防災避難訓練
		フレンドシップ研修
		IT・ICTの活用・効果測定の方法
	2月	内定者研修
		新人職員研修及び正職員5年目以上研修
		防災避難訓練
		看取り介護（WEB）
		看護職員研修
	3月	新人職員研修及び正職員5年目以上研修
		防災避難訓練
		役職者研修（コーチング）

## 8. 衛生委員会

活動内容	職場環境の整備と職員の安全衛生教育の推進	
	新型コロナウイルス感染予防対策に関する取り組み	
	職員の定期健康診断および感染症予防接種の実施	
	職員の腰痛予防に関する事業	
	メンタルヘルスケアに関する取り組み	
活動実績	7月	職員定期健康診断①と感染予防対策
	9月	健康診断後の有所見者追跡調査①
	11月	職員定期健康診断②と感染予防対策
		保健指導①と感染予防対策
	12月	インフルエンザ予防接種の実施と感染予防対策
		インフルエンザ予防接種の実施と感染予防対策
	1月	健康診断後の有所見者追跡調査②
		腰痛実態調査
	2月	腰痛検診実施と感染予防対策
ストレスチェック実施		
3月	夜勤従事者健康診断と感染予防対策	

## まきの苑

### 1. 身体拘束廃止委員会

活動内容	高齢者虐待・身体拘束についての理解を深め、防止に向けた啓発活動を行う。また、現状を把握し身体拘束廃止、センサーマットの使用中止に向けた取り組みを行う。	
活動実績	毎月	・身体拘束の現状把握と廃止に向けての検討 ・不適切ケアのアンケートを年3回実施し、高齢者虐待、不適切ケアを防止する啓発運動 ・センサーマット使用中止に向けた取り組み
	5月	「身体拘束廃止に向けて」の法人研修
	8月 12月	高齢者虐待防止研修

### 2. 事故防止対策委員会

活動内容	事故報告書・ヒヤリハットについて発生件数を集計分析、原因究明し再発防止の対策を行う。また、予防に対する意識を組織全体に浸透させる。	
活動実績	毎月	事故・ヒヤリハットの集計項目を増やし、日勤帯・夜勤帯で分けることで、眠りスキャン等の活用が出来ているかも含め把握に取り組んだ。 施設点検表は、車いすの管理表を作成し、現状把握・修理がスムーズに行えるよう整備を行った。
	年間	誤薬ゼロへの取り組みは、毎月の発信を継続し誤薬事故年間44件。

### 3. 苦情解決委員会

活動内容	ご利用者、ご家族等からの苦情・要望などを把握、分析し迅速な対応を行い施設全体のサービスの向上を図る。	
活動実績	年間	満足度アンケートではなく、入居者様に対しての意向確認を実施し、ケアプランに反映することで生活の質の向上に努めた。

### 4. 感染予防委員会

活動内容	4のつく日は「予防の日」と定め、流行時期の感染症を予測して積極的な対応に努める。各フロアに関連資料を配布。知識がわかるだけでなく、実際に現場で行動できるよう、シミュレーションを行い、随時、現場の声を反映しマニュアルの検討を行う。	
活動実績	毎月	勉強会、備品チェック等
	7月	施設環境チェック、感染対応強化チェック
	10月	事例集からの学び（DVDを活用し研修）
	11月	新型コロナウイルス発症に伴い、保健所・医師等により指導を受け、対応を実践に取り組む
	1月	感染対応強化に伴い、職員の対応強化のチェック

## 5. 褥瘡予防委員会

活動内容	褥瘡予防・対策についての知識を深め、多職種連携のもと、褥瘡発生予防に努めるケアができるように原因を分析し、検討会を行う。	
活動実績	毎月	各フロア褥瘡発生状況報告と原因・対策を発表し検討

## ルポゼまきの

### 1. 身体的拘束適性化検討委員会

活動内容	身体拘束実施者の有無及びセンサー使用者の状況を報告し、必要性の有無及び各部署での対応方法・取り組みを検討。
------	---

### 2. 事故対策委員会

活動内容	事故の原因・問題点を探るためのアセスメントの重要性の啓発を行い、事故対策や予防に対する意識付けと職員の質の向上を図る。また、機器や備品を定期的に点検し、事故予防を図る。
------	--

### 3. 苦情解決委員会

活動内容	利用者及び家族等関係者からの苦情を受け、内容の検証・解決までの追跡・解決後の再発予防の確認の徹底を図ると共に職員への周知、意識向上に取り組む。
------	---

### 4. 感染・褥瘡予防対策委員会

活動内容	感染症が発生した際、迅速に動けるよう医師の指示のもと対応方法を検討する。又、感染症等の発生予防対策を検討し職員に周知徹底を図る。
------	--

### 13. ボランティアの登録状況について

ボランティア登録者数：112名

名 称	内 容
リーベ茶花	お茶・お花のボランティア・行事のお手伝い
R I C Eファミリー	ゴスペル
ボランティアウェルビーイング	行事のお手伝い
五條西中学校	吹奏楽・行事のお手伝い
牧野小学校	金管バンド
牧野保育所	七夕交流会・遊戯
みみずくの会	喫茶・行事のお手伝い
田園ボランティアサークル	カフェまきのえん（歌声サロン）
大正琴ひまわり	大正琴
島田 陽夫	太極拳
春名 美雅子	コーラスクラブ
中谷 典子	絵手紙
ドリームレオ	ウクレレ演奏・バルーンアート
きのこの会	喫茶ふくろう
五條市朗読サークル	朗読
ハートスマイル	歌謡コンサート
絆	歌・体操
ウクレレシスターズ	ウクレレ演奏
歌声サロン	昭和歌謡・童謡唱歌
秋桜	大正琴

（順不同、敬称略）

※新型コロナウイルス感染症対応の為、ボランティア活動は休止。

## 14. 人事労務管理

### (1) 職員配置人数表(実人数)

R3.3.31

職種	事業所／雇用形態	法人本部	まきの苑				ほげまきの		音和舎					グループホーム シャルルまきの	合計
			老人福祉施設	短期入所生活介護 (一般)	通所介護 (一般)	ケアハウス	老人保健施設	通所リハビリ	訪問介護 (布乃香)	居宅介護支援 (彩羽)	通所介護 (善)	通所介護 (利休)	通所介護 (扇寿)		
施設長／ 管理者	正規	1	1							1					3
	非正規					1									1
	計	1	1			1				1					4
事務員	正規	7	3				2			1			1		14
	非正規	3		1			2								6
	計	10	3	1			4			1			1		20
介護支援 専門員	正規		1				1				2		1		5
	非正規		1				1				4			1	7
	計		2				2				6		1	1	12
相談員	正規		5	1	1		2	1							10
	非正規					1					2	1	1		5
	計		5	1	1	1	2	1			2	1	1		15
介護職	正規		36	5			17	3			2	1	3	9	76
	非正規		57	1	6	4	14	13			3	1	4	10	113
	計		93	6	6	4	31	16			5	2	7	19	189
看護職	正規		2		1		3								6
	非正規		8		1		8				1			1	19
	計		10		2		11				1			1	25
訪問介護員	正規														
	非正規									7					7
	計									7					7
栄養士	正規		3				2						1		6
	非正規		2					1							3
	計		5				2	1					1		9
医師	正規						1								1
	非正規		2					1							3
	計		2				1	1							4
訓練指導員	正規		2				2	3				1			8
	非正規						3	8							11
	計		2				5	11				1			19
介助員	正規				1										1
	非正規		6				5	2							13
	計		6		1		5	2							14
運転手	正規														
	非正規	1	1		5			10			3	2	1		23
	計	1	1		5			10			3	2	1		23
薬剤師	正規														
	非正規						1								1
	計						1								1
その他	正規														
	非正規	18	25				12	4				1			60
	計	18	25				12	4				1			60
正規職員		8	53	6	3		30	7		2	4	2	6	9	130
非正規職員		22	102	2	12	6	46	39	7	4	9	5	6	12	272
合計		30	155	8	15	6	76	46	7	6	13	7	12	21	402



## (2) 職員配置人数表(常勤換算)

R3.3.31

職種	事業所／雇用形態	法人本部	まきの苑				ルポゼまきの		音和舎					グループホーム シヤルルまきの	合計
			老人福祉施設	短期入所生活介護	通所介護 (一般)	ケアハウス	老人保健施設	通所リハビリ	訪問介護 (布乃香)	居宅介護支援 (彩羽)	通所介護 (善)	通所介護 (利休)	小規模多機能 (扇寿)		
施設長／ 管理者	正規	0.9	1				0.1				1				3
	非正規					1									1
	計	0.9	1			1	0.1				1				4
事務員	正規	7	3				2			1		1			14
	非正規	2.1		1			1.9								5
	計	9.1	3	1			3.9			1		1			19
介護支援 専門員	正規		1				1			2		1			5
	非正規		0.8				0.7			2.9			0.6		5
	計		1.8				1.7			4.9		1	0.6		10
相談員	正規		5	1	1		2	1							10
	非正規				1					1.1	1	1			4.1
	計		5	1	1	1	2	1		1.1	1	1			4.1
介護職	正規		36	5			17	3			2	1	3	9	76
	非正規		38.7	1	5	2.8	8.7	7			2.3	0.6	1.3	5.4	72.8
	計		74.7	6	5	2.8	25.7	10			4.3	1.6	4.3	14.4	148.8
看護職	正規		2		1		3								6
	非正規		5.3		0.4		4				0.5			1	11.2
	計		7.3		1.4		7				0.5			1	17.2
訪問介護員	正規														
	非正規									3.4					3.4
	計									3.4					3.4
栄養士	正規		3				2						1	1	7
	非正規		1.1					0.5							1.6
	計		4.1				2	0.5					1	1	8.6
医師	正規						1								1
	非正規		0.4					0.9							1.3
	計		0.4				1	0.9							2.3
訓練指導員	正規		2				2	3							8
	非正規						1.3	1.7							3
	計		2				3.3	4.7							11
介助員	正規				1										1
	非正規		2.9				2	1.1							6
	計		2.9		1		2	1.1							7
運転手	正規														
	非正規	0.6	0.6		2.5			5.9			1.8	1.4	0.8		13.5
	計	0.6	0.5		2.5			5.9			1.8	1.4	0.8		13.5
薬剤師	正規														
	非正規						0.3								0.6
	計						0.3								0.6
その他	正規														
	非正規	6.6	12.8				7.7	1.4				0.8			29.3
	計	6.6	12.8				7.7	1.4				0.8			29.3
正規職員	7.9	53	6	3		30.1	7		2	4	2	6	10	131	
非正規職員	9.3	62.5	2	7.9	4.8	26.6	18.5	3.4	2.9	5.7	3.8	3.1	7	157.5	
合計	17.2	115.5	8	10.9	4.8	56.7	25.5	3.4	4.9	9.7	5.8	9.1	17	288.5	

(3) 事業所別一覧

(有給休暇取得率・超過勤務実績・平均勤続年数・平均年齢)

R3. 3. 31

	有給休暇取得率 (%)	超過勤務実績 (時間)	平均勤続年数 (年)	平均年齢 (歳)	離職率 (%)		
					正職員	正職員以外	合計
本部	4.15	1223.25	6.9	59	16.7	13.3	14.3
特養	28.28	4686	8.8	50	12.7	18.6	16.8
特養ショート	0.87	445.5	11.1	47	0	0	0
デイ (一般)	3.81	417.75	8.2	54	40.0	11.1	21.4
デイ (認知)	1	149.75	0	0	0	0	0
ケアハウス	0.84	648.5	10.1	68	0	0	0
老健	13.6	1960.75	7.6	49	12.1	7.7	9.4
デイケア	7.74	351.75	5.8	51	33.3	13.0	16.4
グループホーム	2.72	64.5	9.8	46	22.2	0	11.1
音和舎 善	2.38	374.25	7.4	55	20.0	36.4	31.2
音和舎 彩羽	1.2	101.5	10.5	52	0	25.0	14.3
音和舎 布乃香	0.23	14	9.1	60	0	0	0
音和舎 利休	1.41	45	11.7	57	50.0	0	16.7
音和舎 扇寿	-	12	8.2	51	0	0	0
計	68.25	10494.5	8.2	51	15.7	14.0	14.6

※有給休暇取得率・超過勤務実績は、令和2年度（令和2年4月～令和3年3月）実績

※平均勤続年数・平均年齢は、令和3年3月31日現在

※派遣職員、試用期間中の退職は除く

※離職率は令和2年度退職者数÷期首（R2.4.1）で算出

(4) 年齢階層別一覧

直接処遇職員（医師・介護職・看護職・相談員・訓練指導員・ヘルパー）

R3. 3. 31

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計(人)	平均年齢 (才)
正職員	1	14	30	38	17	3	0	103	41.1
パート	0	8	26	53	38	51	15	191	52.5
合計	1	22	56	91	55	54	15	294	48.5

その他の職員（介護支援専門員・栄養士・事務員・運転手・宿直員・清掃員）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計(人)	平均年齢 (才)
正職員	0	5	6	9	4	1	0	25	41.1
パート	0	0	3	5	6	41	25	80	64.5
合計	0	5	9	14	10	42	25	105	59.0

全体

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計 (人)	平均年齢 (才)
正職員	1	19	36	47	21	4	0	128	41.1
パート	0	8	29	58	44	92	40	271	56.1
合計	1	27	65	105	65	96	40	399	51.3

(5) 勤続年数階層別一覧

直接処遇職員（医師・介護職・看護職・相談員・訓練指導員・ヘルパー） R3.3.31

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 9年未満	9年以上	合計(人)	平均勤続年数(年)
正職員	10	16	9	6	6	56	103	10.6
パート	17	38	27	20	22	67	191	7.6
合計	27	54	36	26	28	123	294	8.7

その他の職員（介護支援専門員・栄養士・事務員・運転手・宿直員・清掃員）

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 9年未満	9年以上	合計(人)	平均勤続年数(年)
正職員	2	6	2	3	2	10	25	9.1
パート	4	19	15	12	10	20	80	6.1
合計	6	25	17	15	12	30	105	6.8

全体

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 9年未満	9年以上	合計(人)	平均勤続年数(年)
正職員	12	22	11	9	8	66	128	10.3
パート	21	57	42	32	32	87	271	7.2
合計	33	79	53	41	40	153	399	8.2

(6) 育児・介護休業取得状況

育児・介護休業取得者

	男	女	計(人)
育児休業取得者	3	1	4
介護休業取得者	1	2	3

育児・介護休業復帰者

	男	女	計(人)
育児休業取得者	3	0	3
介護休業取得者	1	0	1

## (7) 資格取得状況一覧表

R3. 3. 31

資格状況	法人本部	まきの苑				ルボゼまきの		音和舎					グループホーム	合計
		老人福祉施設	短期入所生活介護事業	通所介護事業(一般型)	ケアハウス	老人保健施設	通所リハビリ事業	訪問介護事業 (音和舎布乃香)	居宅支援事業 (音和舎彩羽)	通所介護事業 (音和舎善)	通所介護事業 (音和舎利休)	小規模多機能介護事業 (音和舎扇寿)		
医師		2				1	1							4
理学療法士		1				1	9							11
作業療法士						3					1			4
歯科衛生士		2				1								3
薬剤師						1								1
保健師		1												1
看護師		4		1		6				1			1	13
准看護師		4		1		4								9
社会福祉士	1	3	1	1		3				2			1	12
介護支援専門員	1	15		1	1	7	6	1	6	2	2	5	4	51
介護福祉士		51	4	1	1	17	10	5	5	4	2	5	10	115
社会福祉主事	2	8	1	1	1	6	4			1	2	1	1	28
ヘルパー1級		4				1	1							6
ヘルパー2級		39	2	3		12	2	5	2	3	1	2	6	77
管理栄養士		3				2	1					1	1	8
栄養士		1												1
産業医						1								1
衛生管理者	1	2				1						1		5
危険物取扱者	2	3					1			1				7
防火管理者	1	2								1		1		5
認知症介護指導者研修		1												1
認知症高齢者GH管理者研修	1													1
認知症介護実践研修(リーダ)		1		1		1	2						2	7
認知症介護実践研修	2	7	1			2	3			1		2	4	22
認知症ケア専門士		1				1								2
エッセイライター研修		7				1				2			2	12
実習指導者(看護婦)研修		2												2
健康運動指導士							1							1
言語聴覚士		1				1	1							3
合計	11	165	9	10	3	73	42	11	13	18	8	18	32	413

※ヘルパー1, 2級には初任者研修・実務者研修は含まない。